

当施設の玄関前で春に芽吹いたシランが赤紫や白の花を咲かせ、さわやかな風に揺れています。国立環境研究所 微生物系統保存施設から MCC メールニュース No. 23 をお届けします。

目 次

NIES 株トピックス

NIES 株を使った論文 (2023 年 2 月–5 月分)

新規公開微生物株 (2023 年 2 月–5 月分)

お知らせ

藻類培養技術トレーニングコース

NIES 株トピックス

淡水産～沿岸性 *Synechococcus* の系統的多様性

Synechococcus は外洋の主要な一次生産者として知られるシアノバクテリアです。これまで海産系統を中心に研究が進められ、生息環境の異なる 18 クレードが認識されています。一方、NIES には 50 株を超える独自の *Synechococcus* 培養株が保存されていますが、その多くは淡水性、汽水性、あるいは沿岸性です。Suzuki *et al.* (2022) はこれらの *Synechococcus* 株の 16S rRNA 遺伝子と *petB* 遺伝子の系統解析を行い、外洋性系統以外にも大きな多様性があることを報告しました。例えば [NIES-971](#)、[NIES-981](#)、および [NIES-987](#) から構成される系統は、干潟や砂浜に特化した新規系統でした。また、*Synechococcus* 全体の系統関係を高解像度で推定できる *petB* 遺伝子のユニバーサルプライマーセットを作成し、その有効性についても検証しています。

Suzuki, S., Yamaguchi, H., and Kawachi, M. Potential genetic diversity of *Synechococcus* - related strains maintained in the Microbial Culture Collection of the National Institute for Environmental Studies, Japan. *Microb. Resour. Syst.*, 2022, 38, 63–74.

https://www.jsrms.jp/journal/No38_2/No38_2_63.pdf

NIES 株を使った論文（2023 年 2 月－5 月分）

NIES 株を使った研究成果が発表されました。

https://mcc.nies.go.jp/07information/07references_j.html

新規公開微生物株（2023 年 2 月－5 月分）

2023 年 5 月までにご寄託いただいた 50 株が、ご利用いただけるようになりました。

https://mcc.nies.go.jp/07information/07new_strains_j.html

- ・阿寒湖産マリモ *Aegagropila linnaei* [NIES-4488](#)
- ・DHA 生産や「石油を作る藻類」として注目されている *Aurantiochytrium limacinum* [NIES-4444](#)
- ・ハプト藻で形質転換可能な *Pleurochrysis carterae* [NIES-4509](#)
- ・台湾および日本産の *Volvox* 12 株
- ・スロバキア産の氷雪藻 *Chloromonas kaweckae* [NIES-4476](#)
- ・淡水性ラビリンチュラ類 *Diplophrys mutabilis* [NIES-3361](#)
- ・ハワイおよびグアム島産 *Coolia* 10 株
- ・ケルコゾアで従属栄養鞭毛性の *Ventrifissura oblonga* [NIES-4233](#) とその餌珪藻 *Entomoneis* sp. [NIES-4115](#)
- ・グアム島産および沖縄産 *Amphidinium* 4 株
- ・メタモナス生物群フォルニカータ類に属する *Aduncisulcus paluster* [NIES-4563](#)
- ・西部北太平洋産の渦鞭毛藻、クリプト藻、緑藻、ハプト藻、ペラゴモナス等 14 株

海外産株については、いずれも ABS (Access and Benefit-Sharing) 上、問題の無いことを確認済みで、研究にご利用いただけます。

お知らせ

●新たに無菌化された株

Coleochaete scutata [NIES-4262](#)

Closterium peracerosum-strigosum-littorale complex [NIES-63](#)

Lotharella reticulosa [NIES-2584](#)

Tisochrysis lutea [NIES-2590](#)

Volvulina pringsheimii [NIES-895](#)

● *Galdieria sulphuraria* [NIES-3638](#) の学名を *G. javensis* へ変更しました (Park *et al.* 2023 <https://doi.org/10.1111/jpy.13322>)。

● 当施設関係者の受賞報告

松崎令高度技能専門員が日本植物分類学会奨励賞を受賞しました。

<https://www.nies.go.jp/whatsnew/2023/20230410-1.html>

鈴木重勝高度技能専門員が日本微生物資源学会奨励賞を受賞しました。

https://www.jsmrs.jp/ja/#jsmrs2022_award

● 日本微生物資源学会第 29 回大会案内

日本微生物資源学会第 29 回大会 (2023 年 6 月 21 日-23 日、つくば市文部科学省研究交流センター) にて、当施設の活動実績についてポスター発表を行います。また鈴木重勝高度技能専門員が日本微生物資源学会奨励賞の受賞講演を行います。

<https://www.jsmrs.jp/ja/#jsmrs29>

6 月 23 日には一般の方々に公開されるシンポジウム「微生物の分離・培養を考える」が開催されます。公開シンポジウムへの参加には事前の登録が必要です。

https://www.jsmrs.jp/ja/#jsmrs_sympo2023open

● 国立環境研究所 公開シンポジウム 2023 の案内

国立環境研究所は、最新の研究成果を広く一般の方々にお伝えするために、毎年公開シンポジウムを開催しています。今年は 6 月 22 日にオンラインにて開催され、当施設の河地正伸室長が「藻類カルチャーコレクションの役割と SDGs への貢献」についてオンラインポスター発表を行います。

<https://www.nies.go.jp/whatsnew/2023/20230516/20230516-2.html>

藻類培養技術トレーニングコース

2023 年 6 月 28 日 (水) - 30 日 (金) に神戸大学・内海域環境教育研究センター・マリンサイト (淡路島) にて、国立環境研究所微生物系統保存施設と神戸大学海藻類系統株保存室が合同で藻類培養技術トレーニングコースを開催します。

定員：20名

内容：淡路島の沿岸、溜め池等で、海藻やプランクトン等のサンプリングを行い、実験室にて藻類の観察および分離・培養に関する技術を講習します。参加費は無料ですが、施設利用料・光熱水費（1,260円）をお支払いいただきます。また、宿泊施設は各自で手配をお願いいたします。

参加を希望される方は下記 URL よりお申し込み下さい。締め切りは6月7日（水）です。選考結果は6月13日（火）までに e-mail にてご連絡いたします。

<https://forms.office.com/r/psajpDT3Xe>

メールニュースは1、5、9月月末に発行します。

過去のメールニュースは以下から閲覧可能です。

https://mcc.nies.go.jp/07information_j.html#mail_news

メールニュースの受信停止は、mcc@nies.go.jp までご連絡ください。

ご質問、ご意見は、mcc@nies.go.jp までご連絡ください。

本メールに記載された内容を予告することなく変更することがあります。

本メールに掲載された記事を許可なく複製・転載することを禁止します。

発行

国立研究開発法人国立環境研究所

微生物系統保存施設

mcc@nies.go.jp

<https://mcc.nies.go.jp/>

https://twitter.com/mcc_NIES

https://www.instagram.com/mcc_nies/

MCC Mail News No. 23 (2023.5.31 発行)